



真ん中の唇弁が赤く、清楚な白い花を咲かせるランの一種

セッコク



5 月下旬～6月上旬に花を咲かせるセッコク。岩や樹木に根を張りつけて自生するラン科の植物で、木島の松雲寺の境内で見ることが出来ます。

毎年花の開花を楽しみにしている松雲寺の齊賀佳代美さんは、「このセッコクは、約70年前に、柿の古木のくぼみに根が付き、自然に育ちました。初めは、茎も花もまばらでしたが、古い茎の間から次々と新芽が生えてきて、今では柿の枝の周りを囲んで育ち、まるで手まりのように生い茂っています。開花時期になると、花束のようになり、とても美しいです」と話します。

「手入れをしたことはありませんが、最近、折れた茎を近くのツバキのくぼみに挿したところ、そこに根を張り、



左上の固まりが、柿の木の枝に茂るセッコク

育ち始めました。栽培するのは難しいという話も聞きますが、柿の葉が適度な日陰をつくるため、力強く育っています。参拝などで訪れた人が、毎年楽しみにしてくれているのを聞くとうれしいです」と笑顔で話してくれました。

市内で自生しているものは珍しいセッコク。皆さんも見に行ってみてはいかがでしょうか。



全日本高校パワーリフティング選手権3位、ベンチプレスで世界大会に出場する

鈴木

康之さん

(吉原工業高校3年)



ベンチプレス、スクワット、デッドリフトの3つで上げた合計重量を競うパワーリフティング。鈴木康之さんは、全国高校生の3位に輝きました。

中学1年生のとき、父親の勧めで本格的に競技を始めたという鈴木さん。今は、週5日ジムで練習しています。「ベンチプレスは毎回行い、デッドリフトとスクワットは交互に練習します。最高記録が伸びたときはうれしくて、次の重さに挑戦するのが楽しみになりません」と競技の魅力を語ります。

全日本高校パワーリフティング選手権を振り返り、「もともと緊張しやすいのですが、高校生だけの大会で負けたくないという思いがあり、なおさら緊張しました。その中で、得意のベンチ



得意とするベンチプレスを練習する鈴木さん

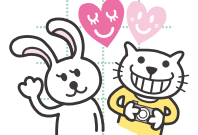
プレスで高校生の日本記録を出すことができ、誇りに思います」と話します。

5月下旬にベンチプレスの世界大会に出場する鈴木さん。「ここまで指導をしてくれたジムの会長には本当に感謝しています。まだ記録が伸びる可能性があるがあるので、よりよい記録を出して優勝したいです」と意気込みを語ります。

世界での活躍に期待がかかります。

HAPPY PHOTO'S

我が家のアイドル



長田 朋望ちゃん(本市場町)
H25.9.30生

「いつまでもその笑顔を見ていたい!」



小野 菜愛ちゃん(伝法)
H25.11.2生

「笑顔がかわいい菜愛ちゃん♡癒やされる〜♡」



佐藤 蒼也ちゃん(一色)
H25.11.19生

「毎日かわいい蒼ちゃん。幸せをありがとう♡」

★我が家のアイドル大募集!!

あなたの子どもの写真(顔全体が写っている横写真)とコメントを大募集!!詳しくは広報広聴課まで。

☎(55)2700 ☎(51)1456
✉ kouhou@div.city.fuji.shizuoka.jp